

Shell Alvania Grease RA-J

シェル アルバニヤ グリース RA-J

ー低温汎用グリースー

シェル アルバニヤ グリース RA-J は、耐熱、耐水性に優れたリチウム系はん用グリースで、特に低温下において優れた潤滑性能を発揮します。

シェル アルバニヤ グリース RA-J は、リチウム石けんを増ちょう剤とし、低粘度の高度精製鉱油を基油として、酸化防止剤及び防錆剤を添加しています。

シェル アルバニヤ グリース RA-J は、 -40°C までの低温で使用出来ます。また、常温で大きな動力損失が望ましくない個所にも使用されます。また、非常に高速で運転されるころがり軸受や、軽荷重および中荷重の平軸受にも使用されます。

使用温度範囲 : $-40^{\circ}\text{C} \sim +130^{\circ}\text{C}$

■シェル アルバニヤ グリース RA-J の特徴

1. 地球環境に配慮

シェル アルバニヤ グリース RA-J は、地球環境に悪影響を及ぼすと考えられる原材料を使用していません。環境保全に貢献するとともに、安全な作業環境が確保できます。

2. 優れた低温性

高度に精製された低粘度鉱油を基油としていますので、低温時の起動トルクが小さく、また低温下において優れた潤滑性を発揮します。

3. 広い使用温度範囲 ($-40^{\circ}\text{C} \sim 130^{\circ}\text{C}$)

主に低温／高速用に開発されたグリースで、高度に精製された基油を使用していますので、低温は元より比較的高温まで使用できます。

4. 優れた防錆性

高湿条件下にあっても優れた錆止め性能を発揮し、錆止めグリースとしても使用できます。

5. 優れた音響特性

電動機等で要求される厳しい音響特性に対しても満足する結果が得られます。

シェル アルバニヤ グリース RA-J 代表性状				
試験項目			試験方法	代表性状
外 観				なめらか、褐色
増ちょう剤				リチウム
原料基油	タ イ プ		JIS K 2283	鉱 油
	動粘度 mm ² /s	@40℃		40
		@100℃		6.3
混和ちよう度			JIS K 2220 7.	243
滴 点 ℃			JIS K 2220 8.	187
蒸発量 (99℃×22h) wt%			JIS K 2220 10.	0.3
離油度 (100℃×24h) wt%			JIS K 2220 11.	1.8

※代表性状値は、商品の改定により、予告せずに変わる場合があります。 (2017-11)

シェル アルバニヤ グリース RA-J の販売荷姿 ： 16 kg ペール

■使用上の留意点

- ・給脂の際、機械の給脂口をきれいにし、新しいグリースを補給してください。出来るだけ機械を無負荷で運転しながら古いグリースが排出口などから出つくし、新しいグリースが出て来るまで十分に給脂してください。
その後は、機械メーカーの指示を十分考慮し、定期的に給脂してください。
- ・石けん基の異なるグリースを混ぜると、性能低下がおきますのでご注意ください。なお、同じ石けん基グリース同士の場合でも性能低下がおこることがありますので、異なる銘柄の混合使用はさけてください。
- ・グリースはゴミなどのコンタミネント（汚染物）が混入すると、取り除くことができません。
そのまま使用した場合、軸受、ギヤなどの異常摩耗、破損の原因となりますので取扱いに十分注意するとともに容器の蓋をよく締め、直射日光のあたらない場所（屋内）に保管してください。
- ・製品の海外輸出に際しては、輸出貿易管理令の該非判定だけでなく、その他の要件によって日本政府当局への許可申請が必要になる場合があります。また、仕向国の法規等により輸入制限を受ける場合がございます。製品を自ら輸出されているお客様は、この点をご理解の上ご自身の責任で必要な措置を講じるようお願いいたします。ご不明な点がございましたら、ルブカカスタマーサービスセンターまでお問い合わせください。

※本資料は、事業者様向けに作成されたものです。



取扱上の注意

▼下記の注意事項に従ってお取扱いください。

＜取り扱い上の注意＞

[安全対策]	・使用前にカタログ、SDS を入手し、全ての安全情報を読み理解するまで取り扱わないこと。 ・取り扱う際は保護具を使用すること。 ・飲み込んだ場合：直ちに医師に連絡すること。 ・無理に吐かせないこと。
[応急措置]	・飲み込むと下痢・嘔吐を起こすことがあります。 ・目に入ると炎症を起こすことがあります。目に入った場合は、清浄な水で最低 15 分間洗浄し、医師の手当てを受けること。 ・皮膚に触れると炎症を起こすことがあります。皮膚に付着した場合は、水と石鹸で十分に洗うこと。
[保管]	・直射日光を避け、換気の良い場所に保管すること。 ・ゴミ、水分などの混入防止のため使用後は密栓して保管すること。
[廃棄]	・内容物/容器を国際/国/都道府県/市町村の規則に従って廃棄すること。具体的には、都道府県知事等の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。 ・不明な場合は購入先に相談の上処理すること。

Rev.1.2017.11.1